

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	地域子育て支援センター事業	事業コード	0487
担当課等	所属名	保健福祉部 児童福祉課	担当係名
	課長名	石塚 千英司	担当者名 菊池 悠貴
		電話番号	2566

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	みんなで支える子育て支援の展開	コード 6
	基本事業	育児不安の軽減	コード 2	関連予算費目名	一般会計 3款 2項 1目 地域子育て支援センター事業(009-03) 一般会計 3款 2項 5目 地域子育て支援センター事業(001-04)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度				⇒(開始年度 平成8年度～)	
事務事業の概要	都市化の進展に伴い核家族化が進行し、子育て家庭における保護者の身体的、心理的負担が増大している今日、育児不安の解消、子育ての援助など、地域における子育て家庭に対する支援が求められている。このような社会情勢の中、地域に密着した児童施設として、育児のノウハウを蓄積している保育所が、関係機関と連携して、子育て支援事業を総合的に実施するものである。					
根拠法令等	盛岡市地域子育て支援拠点センター型事業実施要綱					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
地域全体で子育てを支援する基盤の形成を図るために開始された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
子育て支援センター事業のうち、にこにこルーム、びよびよルーム(公民館に保育士が向ういて遊びを指導し、親子が気軽に遊べる場の提供と親同士の交流を図るもの)の拡充を求めている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
特別保育事業実施要綱(国)の改定に伴い、従来の地域子育て支援センターのうち経過措置分の小規模型指定施設3園(くりやがわ保育園、みたけ保育園、永井保育園)は廃止した。今後、支援センターが無い地区への対応について検討が必要である。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	小学校就学前児童とその保護者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 小学校就学前児童数 B. C.	単位	人
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) とりよう保育園が拠点保育園となり公立保育園16園で実施する。①こんにちはママさん講座②子育てサークルの支援③子育てサークルの情報提供④サークルの集い「ママとパパとキッズのなかよしランド」開催⑤子育て講演会の開催⑥公立保育園一斉園開放⑦びよびよん広場⑧にこにこルーム⑨高校生保育体験⑩子育て相談⑪ころころ赤ちゃん講座 ほか実施 ・私立保育園6園で地域子育て支援センター事業を実施。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 事業内容は22年度と同じ。実施園はとりよう保育園が拠点保育園となり公立保育園16園のほか、私立保育園6園で実施する。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 無料園開放等支援センターを利用する人数 B. 実施箇所 C. 子育て相談件数	単位	人数 園 件数
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	子育てに関する情報提供、各種講座の開催や子育てのネットワークをすることにより子育ての不安解消を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 無料園開放等支援センターを利用する人数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 B. 子育て相談件数 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】 C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	人 件
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	子育てに悩まない	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	アンケート調査「子育てに悩んでいる・不安を持っている」と答えた子どものいる親の割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	小学校就学前児童数	人	15,428	15,113	15,113	14,929	14,929	14,929	26年度 15,000
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	無料園開放等支援センターを利用する人数	人数	21,721	23,594	22,200	25,109	22,200	22,200	26年度 24,000
活動 指標B	実施箇所	園	9	10	7	7	7	7	26年度 8
活動 指標C	子育て相談件数	件数	1,001	1,001	1,000	1,138	1,100	1,100	26年度 1,200
成果 指標A	無料園開放等支援センターを利用する人数	人	21,721	23,594	22,200	25,109	22,200	22,200	26年度 24,000
成果 指標B	子育て相談件数	件	1,001	1,001	1,000	1,138	1,100	1,100	26年度 1,200
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	41,520	51,782	53,907	53,158	54,232	54,232	*****
財源 内訳	④国	千円	14,454	17,793	17,479		25,900	25,900	*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	27,066	33,989	36,428	53,158	28,332	28,332	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	41,520	51,782	53,907	53,158	54,232	54,232	*****
	延べ業務時間数	時間	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	26,000	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	67,520	77,782	79,907	79,158	80,232	80,232	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:子育て相談や子育てサークルへの指導援助などを行うことにより育児不安の軽減を図ることができる。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:国の実施要綱に基づき、市がやるべき事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:国の実施要綱に基づき、就学前児童を対象にした事業である。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	↳「妥当」とする理由: <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由:子育ての総合的な支援として、国の要綱に沿った意図であり、妥当である。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容:事業の認知度をさらに上げるよう周知を図り、多くの人に活用されるようにする。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:事業を廃止した場合、子育て相談や育児不安の解消の場など、子育て支援の機会が減り、子育て支援施策が後退する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:盛岡市つどいの広場 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:子育て支援を行う施設は身近にあり、そしていつでも気軽に利用できることが望ましく、施策の充実を図る観点から統廃合は考えられない。
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:子育て支援について、市民からの要望も多く、成果をあげるためにも削減はできない。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:市民の要望が多く寄せられる事業であり、さらに充実させるためにも削減はできない。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:保育園等を利用せずに在家庭において子育てをしている親子を対象とはしているが、利用制限はしていないため誰でも利用できるのが受益機会は適正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:行事などの際には、材料費などの実費徴収を適正に行っている。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <p>①保健所、児童相談所、ファミリーサポートセンター、認可外保育所との緊密な連携。②支援センターの利用者増加に対応するため、実施施設の増設。③利用者のニーズに対応するため、各支援センターの事業内容の充実。</p> <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <p>支援センターの未設置地区について、当該事業のなかでどのように補っていくか検討が必要。公立の支援センターで実施している地域支援活動において、月に10日程度車を使用することとなるが、他課から借用するなどしてしのいでいる状況であるため、支援センター独自で公用車が必要である</p>
---------	--

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり	③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <p>利用者数や相談件数は、今後も増えるものと予想されることから、関係機関と連携を密にしながら、支援体制の強化を図っていく検討が必要である。</p>
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
③ 効率性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>ニーズの増加に対応できる体制の検討及び関係機関との連携について検討が必要となる</p>														